

CSR活動報告 地域社会との共存共栄

開港前の会社設立当初から、地域の方々と会話の場を持ち、地域と連携したイベントを通じて、積極的にコミュニケーションを図っています。今後とも、地域社会の一員として、地域に支えられ、愛され親しまれる空港運営に努めていきます。

2009年度の総括	今後の取り組み
地域と空港とがともに発展していくことを目指し、関係地方公共団体や学識経験者と対話を持ちました。地域の皆様に親しまれ、愛される空港となることを目指して、出張授業や地域交流イベントの開催、関西の観光PRなど、地域交流活動に積極的に取り組みました。	<ul style="list-style-type: none"> ●継続的に地域社会との対話を大切にします。 ●地域交流イベントを通じ、地域に支えられ、愛され親しまれる空港を目指します。 ●子ども向けの職業体験イベントや学生とつくる海外旅行企画などを継続します。

地域社会との対話

当社は、地域とともに発展していく空港として、地域社会との対話を大切にしています。関西国際空港と地域社会との調和を図り、その建設や運営を円滑化するために、関係地方公共団体の代表者と学識経験者で構成する「関西国際空港推進会議」を毎年開催しています。関西国際空港の現状などについて報告し、関西国際空港と地域とが一体となって活性化していくための方策について意見交換をしています。

2009年度は「利便性とコストに配慮した空港へのアクセス改善」「有利子負債の圧縮など関西国際空港のコスト競争力強化」「関西3空港の機能・役割分担の明確化」「環境に配慮した空港運営」などについての意見、要望が寄せられました。

また、大阪府南部の9市4町の首長で構成する「泉州市・町関西国際空港対策協議会」（関空協）、大阪府と当社による「三者連絡会」でも、意見交換をしています。

地域との交流活動

関西国際空港を身近に感じてほしい、親しみを持ってほしい、との思いから、当社は、空港内事業者、地域の学生・各種団体などとともに、さまざまなイベントを開催し、年間10万人

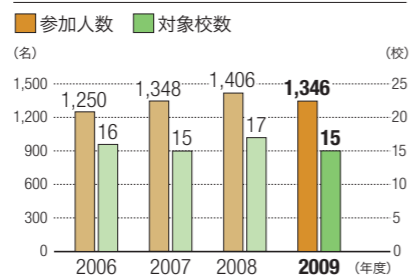
以上のお客様に楽しんでいただいています。また、地域の小学校に当社の社員が赴く「出張授業」を一年を通じて開催しています。

今後も、お子様、ご家族、旅客の方々などさまざまなお客様に満足していただけるイベントを開催していきます。

出張授業

2002年度から、地域の小学校で、関西国際空港をテーマとする「出張授業」を継続しています。2009年度は15校・1,300名以上に受講いただきました。そのうち機内食工場を見学した児童には、昼食として機内食を召し上がって

出張授業参加人数、対象校



出張授業先 大学教授の声



大阪大学大学院
工学研究科 准教授
飯田 克弘氏

講義を通じて、空港を取り巻く課題について理解が深まりました

3回生後期科目の「公共交通システム計画」で、関空会社社員から詳しく業務内容をお聞きし、メンテナンスなど普段見ることのない空港の舞台裏を見学させていただきました。なじみのある鉄道とはまた違って、巨大な箱の中に多機能な運営管理が必要な空港は、学生たちにとって新鮮なテーマであったようです。ちょうど就職活動が始まった時期でもあり、空で活躍できる場は、航空会社だけでなく、空港にもあるという意識付けにもなりました。空港を取り巻く課題をひっくるめて理解を深めることができ、ありがとうございました。

いただく機会を設けました。

2009年度は、大学での出張授業も実施。大阪大学工学部の科目「公共交通システム計画」で、教員として当社社員が、空港の特性と役割、関西国際空港と地域の関わりについて写真や図表を用いて解説しました。受講者には、2期事業の工事現場で最新技術の見学もしていただきました。



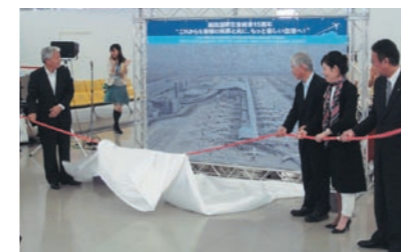
大阪大学での出張授業

「関空サマーフェスタ」

“来て楽しい、使って便利”な空港を目指す関西国際空港では2005年から、毎年夏休みに「関空サマーフェスタ」と題して、ご家族向けの多彩なイベントを展開しています。

2009年度は8月1日から9月6日まで開催し、夕刻の展望ホールからの景色を楽しんでいただくイベントなどを実施しました。

また、開港15周年を記念して、お客様から関西国際空港で撮影された思い出の写真を公募しました。集まった1万枚を組み合わせてモザイクアートを作成し、開港記念日の9月4日に旅客ターミナルビルで披露しました。



開港15周年記念式典

外国人への観光PR

日本を訪れる外国人旅行者の増加を目指す「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の一環として、近畿運輸局や関西の自治体、当社などが連携し、2010年2月に香港で開かれた「2010 キャセイパシフィック・インターナショナル・チャイニーズ・ニューイヤー・ナイトパレード」に参加しました。パレードでは、関西国際空港のキャラクター「カンクン」を含む、関西2府4県の自治体などのマスコットキャラクター12体が「関西ゆるキャラ®オールスターズ」として、ダンスパフォーマンスなどを披露。香港の方々に関西の魅力を伝えました。



「関西ゆるキャラ®オールスターズ」のパレード

イベント企画 担当者の声



航空営業部
旅客営業グループ
廣津 諒平

学生たちの生の声を聞き、今後の可能性を感じました！

若者の海外旅行離れが言われる昨今、(社)日本旅行業協会と共同で、関空発「学生と旅行会社でつくる海外旅行企画」を募集、「関空旅博2010」で学生たちの発表会の場を設け、生の声を聞いてみました。応募者は海外の観光について詳しく勉強されており、実体験に基づいたプレゼンテーションは非常に印象的でした。また、若い皆さんが旅行や関空に大きな関心を持っていることを知り、関空利用者が今後ますます増えていく可能性を感じました。

2009年12月には、和歌山大学観光学部学生と連携し、日本流の抹茶を振る舞う「野点」を開催しました。外国人のお客様に日本の伝統文化を体験していただきました。

「関空旅博」

関西地域発の旅行需要拡大を目指して2005年から毎年3月に、世界に一番近い旅の博覧会「関空旅博」を開催しています。国内外の観光情報などを紹介するブース、世界各国の料理を提供する屋台を設け、訪れるお客様に旅の魅力を存分に味わっていただくものです。

2009年度は、特に女性のお客様にお楽しみいただけるよう、世界のコスメやエステを紹介するコーナーを設け、ご好評を得ました。2日間で約28,000名のお客様にご来場いただきました。

学生とつくる海外旅行企画

各地の大学に観光学部が新設され、観光への関心が高まる中、近畿圏の大学・専門学校を対象に、関空発「学生と旅行会社でつくる海外旅行企画」を公募しました。

67名から38作品のプランが寄せられ、3月に開催した「関空旅博2010」の公開プレゼンテーションで上位8作品を選考。グランプリは、阪南大学の学生

による「リアル ニューヨーク 9日間」で、留学中に訪問した思い出あるスポットを巡るプランは現実感に溢れ、独創性が特に優れていました。

子どもの職業体験

当社は2008年度から、航空会社などと共同企画した子どもの職業体験イベント「KIX KIDS PROGRAM」を開催しています。空港スタッフが講師となり、子どもたちに空港内のルールや飛行機の仕組みなどを楽しく学んでいただくイベントです。

2009年度は、8月に貨物機を見学するイベントを「わくわく関空見学プラン スペシャルコース」として開催。12月はポケモンジェットの見学を含めた「ポケモンセンターふゆまつり in 関空」を開催しました。2010年度はキツニアやサンリオなどとパートナーを組むことで、「KIX KIDS PROGRAM」をより親しまれるイベントに育てています。



「KIX KIDS PROGRAM」での貨物機の見学